

太宰府市観光推進基本計画

～大太宰府観光への挑戦～

2019 年(平成 31 年)3 月

太宰府市



は じ め に

平素より太宰府市政に対し多大なるご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。本市と致しましては、平成の納め、新たな御代の始まりとなる節目の本年を「新生太宰府元年！」と位置付け、意欲的な取り組みを積極的に進めております。その中でも、本計画策定は中核に位置するものです。

「太宰府の観光」というテーマは古くて新しいものであります。さかのぼること江戸時代、太宰府天満宮に参拝する「さいふまいり」が盛んに行われるようになり、門前町も多くの人々で賑わいをみせ、梅ヶ枝餅も江戸後期にはお土産として定着したと言われます。その姿は今につらなるものです。

一方、交通機関の発展や観光形態の多様化などにより、本市への観光は一部に集中し滞在が短時間に留まる通過型となり、経済効果や税収効果が限定的になっていると考えられます。そのうえ、観光客による慢性的な渋滞が、長きに亘り市民の皆様の生活にも影響を及ぼして参りました。

そして現在、観光立国を掲げる我が国の外国人旅行者数は、初めて3000万人を超える時代を迎えました。東アジアの交流拠点として古代日本の「西の都」とも言われる本市は、その歴史的背景、地理的背景からもインバウンドの影響を最も大きく受けている街の一つであると言えます。

このような問題意識の下、大宰府で憩う、味わう、めぐる、つなぐ・結ぶというコンセプトを基に消費単価と旅行者数のダブルの増加を図り観光消費総額の大幅増を目指す、本市にとって初めてとなります太宰府市観光推進基本計画～大太宰府観光への挑戦～の策定に至りました。

本計画により本市の観光の魅力がさらに高まり、積年の課題でありました観光客の満足度の更なる向上と経済効果、税収効果の大幅な増加による市民への還元が同時に成し遂げられ、名実ともに住む人も訪れる人も共に喜びを分かち合えるまちへとつながっていくことを切に願っております。

結びになりましたが、本計画策定に多大なるご尽力を賜りました観光推進基本計画策定協議会の皆様を始め、議員各位、ご意見を下さった市民の皆様、その他関係各位に深く感謝を申し上げますとともに、今後もお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます、巻頭の言葉と致します。



2019年（平成31）年3月

太宰府市長 楠 田 大 蔵



目次

1.	目的・基本的認識	1
(1)	計画策定の目的.....	1
(2)	太宰府市に「観光」がもたらす効果.....	1
(3)	観光を推進するにあたって	2
2.	現状分析.....	3
(1)	本計画の位置づけ	3
(2)	上位計画の整理.....	3
(3)	観光動向.....	6
(4)	観光客ニーズ・動向	15
(5)	SWOT分析	18
3.	観光推進の将来像と基本戦略.....	20
(1)	主要ターゲット層	20
(2)	将来像	21
(3)	基本戦略.....	22
(4)	先進事例からの示唆	24
(5)	KPIの設定	25
(6)	考えられる事業例.....	28
4.	事業の推進体制	29
(1)	推進体制について	29
(2)	本市計画推進にあたっての官民の役割分担.....	29
(3)	官民連携の方針.....	30
(4)	本計画の進捗管理について	31
5.	考えられる事業例.....	32
(1)	宿泊滞在促進戦略～太宰府で憩う～	32
(2)	コト消費促進戦略～太宰府を味わう～	38
(3)	回遊促進戦略～太宰府をめぐる～	43
(4)	基本計画実行戦略～太宰府をつなぐ・結ぶ～	50